

# 指扇小だより

教育目標 **やり抜く子の育成**

かしこく やさしく たくましく あたたく

10月号 令和6年9月30日 第6号

さいたま市立指扇小学校

〒331-0078

さいたま市西区西大宮1丁目49-6

電話 048-623-0133 FAX048-624-2200

【児童数】男子426名 女子449名 計875名

## 「大好き、み～つけた」 ～好きこそものの上手なれ～

校長 引間 陽子



4年校外学習 和紙の里 川の博物館



9月12日(木)避難訓練(竜巻)



9月20日(金) 指小まつり

50HR-50盗塁の記録をあっという間に塗り替え、前代未聞の大偉業を達成させるドジャースの大谷翔平選手に驚かされます。記録達成のインタビューで「嬉しさと安堵を感じるとともにこれまでの先輩方をリスペクトします。」とありました。好きなスポーツと出会い、その魅力を知り、先輩の活躍に憧れ没頭し続けてきた大谷選手のエネルギーやら信念とやはら想像を遙かに超えます。世界の舞台で活躍する堂々たる姿や自信に満ちた台詞に、感動や感心をしています。

本校の子どもたちに私が伝えていることは「やり抜く子の育成」であります。これは本校の教育目標であり、この実現のための取組としてGRITの目標を立てることを継続してきています。大谷選手が高校時代に作成した『マンダラチャート』の目標設定は知る方も多いと思いますが、実は、本校はこのマンダラチャートにも通ずるGRIT目標を全校児童全員で作成しており、年間通して力を入れて取り組んでいます。なりたい自分を目標として掲げ、その達成に向けて、PDCAを繰り返し行っていくことにより、やり抜く力を身に付けた人になることを狙います。

なりたい自分はなかなか定まらずすぐには見つからないものですが、「好きこそものの上手なれ」でいてほしいものです。このことわざ、四字熟語では「一意専心」とも言うようです。このことわざの出典は定かではありませんが、古くから伝えられてきた知恵の一つです。中国の思想家である孔子が、『論語』の中でも似たことを述べており、「それを知る者はそれを好きな者になれない。さらには、それを好きな者はそれを心から楽しんでいる者にはかなわない」とのこと。同じく「一意専心」は、他に心を向けることなく、ひたすら一つのことには気持ちを集中させることを意味する言葉だそうです。今のところのなりたい自分を一旦定め、そこに集中することも大事ではないかと思えます。ここで、子どもたちに伝えたいことは「将来の夢をもつことは素敵なこと。但し、その夢は必ずしも将来の展望に直結しなくてもいい」ということ。いろいろな人と出会い、様々な世界に出逢い、多種多様な世界がみんなを待っているということ。小学校時代を始め、これからの子どもたちの進む道はどこでも「これは大好き。大好きでたまらない!!」という世界を発見していく道であってほしいと思えます。子どもたちがいつか自分の「大好き、み～つけた」という世界を見出し、とことん夢中になる、そんな姿を期待しています。そんな思いを反映させた学びを進めたいです。今学期も子どもたちの活動を精一杯、応援しています。

激暑続いた今年の夏も陰りを見せ始めましたが、これまでの猛暑の中でも、子どもたちは活発に活動し、活躍が光っています。先日の『指小まつり』でも6年生が全校を牽引してくれました。どのチームの催しもアイデア溢れ、まつりを盛り上げてくれました。「6年生のお兄さん、お姉さんが指小まつりを盛り上げてくれたので、とても楽しかったです。」「6年生が休み時間も話に来てくれたけれど、自分も6年生になったらそんな6年生になりたいです。」下級生からも6年生のリードを讃えるメッセージが寄せられ、学校全体が活気に満ちた日となりました。

2学期、まだまだ学校行事が続きます。どうぞ、よろしくお願いたします。

指扇小学校HPIに『指丸日記』を開設しました。ホンの日々のちょっとしたことを日記風にお伝えしています。

特に、リフレッシュ工事の進捗状況もお伝えしつつ、その中、進めている学校の出来事をお伝えしていきます。

